

第98回番組審議会議事録

株式会社エフエムしみず

日 時 平成24年11月7日(水) 午後1時30分～午後3時00分

場 所 清水マリナーミナル 3階会議室

出席委員 角替弘志委員長、望月紀久朗委員、遠藤前穂委員、河村節子委員、
杉山滋朗委員、湯本昌人委員、水野仁志委員

欠席委員 石川浩平委員

進 行

1. 開 会
2. 審議議題 概要説明 審議番組聴取 20分
3. 審 議
4. 次回の予定、その他
5. 閉 会

今回審議

『ワープ・ワープ・ワープ』(ダイジェスト版)

10月30日 火曜日 午後7時00分～7時57分 放送

制作担当 伊藤 敏子

番組概要

平日(月～金)の夜の音楽番組。

パーソナリティーの軽快なお喋りとジャンルを限定しない選曲で、リスナーにくつろぎながら聴いてもらう1時間の生放送番組です。

火曜日は「今日」という日にスポットを当て、芸能ニュースや過去に起こった話題などに関連する楽曲を紹介していきます。

番組審議内容

角替委員長

審議挨拶、各委員からの意見を伺います。

望月委員

かなり幅広いジャンルの楽曲を使っているが、よくまとまっている。曲の説明や歌手の紹介も詳しくしており、リスナーに興味を持ってもらえるのではないか。

遠藤委員

ターゲットは30代後半からか40代である印象を受ける。夜7時台は何かをしながら聴く時間帯。若者を対象にした番組構成にすれば良いのではないか。

河村委員

選曲したのが騒がしい曲なのでリラックスはできない。ジャンルが幅広く話題も豊富で面白い。右から左に聞き流すつもりで聴く番組である印象を受けた。

杉山委員

オープニングのBGMが大きい。日本語は問題ないが、英語名の曲名・歌手名が聞き取りにくい。地元清水の話題がひとつもないことが残念だった。

水野委員

会社帰りの車の中で聴くにはちょうど良い番組構成。幅広いジャンルで、それぞれに興味を持てた。パーソナリティーはもう少し軽快に喋っても良い。

湯本委員

切り口としては面白い。ジャンルが多岐に渡っているのでターゲットが絞りにくい印象を受けた。言い間違えが耳に残る。

角替委員長

「YouTube」「Facebook」など最近のIT用語は、年配の人たちにはなじみがなく分かりにくい。リスナー層を広げるためにも、番組の流れを切らさない程度に説明を入れて欲しい。

次回は、1月17日（木） 11：00開催予定。

以上